



## 1年進路学習 ～『人生ゲーム』で検証するあなたの生涯収支～



4人グループに分かれてスタート

9月29日(水)中間考査の最終日、試験が終わると1年は第一体育館へ移動し進路学習です。面白そうなので、私も参加をしてみました。すると、4人ずつグループに分かれてゲームが始まりました。

ルールを説明すると、4人はそれぞれ下の①～④タイプの学歴・職業・貯蓄額で、必ず結婚・子供をも

うけて家庭を築き、人生ゲームに似たすごろく盤に、各々がさいころの目に合わせて駒を進めていきます。駒が止まったところには、「子供が生まれて50万払う」、「ボーナスを100万もらう」、「交通事故にあい200万払う」などの内容が書かれており、それに従い人生を生き抜き、上がりの時にいくら財産があるかを計算して、生涯においていくらお金が必要になるか確認をするゲームでした。



うわっ、会社の業績が最悪

- |                            |                  |
|----------------------------|------------------|
| ①大学を卒業後に正社員で就職した会社員生活タイプ   | 想定貯蓄額 8 3 4 0 万円 |
| ②専門学校を卒業後に正社員で就職した技術職生活タイプ | 想定貯蓄額 6 9 6 0 万円 |
| ③高校を卒業後にフリーターとして生活タイプ      | 想定貯蓄額 2 2 9 5 万円 |
| ④高校卒業後フリーター、30代から正社員生活タイプ  | 想定貯蓄額 4 8 4 5 万円 |

私は、③の高卒フリータータイプ。保険にも入らず『何とかなるさ』で生きてきた結果、年金ももらえず1355万円の負債を抱えてしまい、経済的に破たんした人生になってしまいました。もちろん人生はお金だけではないし、職業に貴賤はなく、私自身もどのタイプにも属さない人生を歩んできました。

ただゲームを通じ、生徒が自分と家族を大切に、一生懸命働き前向きに生きれば満足できる人生を送ることができる実感を持てたのなら、この体験はとても意義があったと思います。 **(裏面に続く)**

### 困ったお話(その47) (キノコ神の降臨?)

今日10月1日(金)は振替休日だ。貴重な平日休みに私の考えることは一つ、キノコ採りだ。土日はみんな山に入るので、先回りして金曜ならば豊作間違いなし。私は軽トラに乗り、霧深い誰もいない湖にたどり着いた。しかし困った。ここは国定公園内だったことを忘れていた。なので私は泣く泣く写真撮影に専念した。

間もなく見事なクリタケ群落を発見。写真を撮っていると突然、『そのクリタケ、すごいですね!』と声が。はっとして顔をあげると、ひとりの青年がニコニコして目の前にいた。なんで? いつのまに? 驚く私を尻目に青年は言った。『クマが出没するので危険です。一緒に探しませんか。』 こうして奇妙なキノコ探索が始まった。青年は山の斜面を素早く移動し、サクラシメジ、ヌメリイグチ、フウセンタケ、シロハツなどをたちどころに見つけだし、愛おしそうに眺めていた。湖畔周辺を一周したとき、青年は『いいものを見せましょう。ついて来て。』と言った。ついて行くと空き家の別荘地に入っていく。そこの木の切株にあったものは、

『あっ、こっこれは、マイタケだ!!』

直径40cmはあろうか、天然のマイタケの大株が目の前に。興奮のあまり震える手で写真を撮った。その後青年に礼を言い別れると、彼は霧の中に溶け込むようにいなくなった。



クリタケの群落発見!



こんな大株は初めて

しかし… あの青年はいったい何者?

## 茶華道部 花いけバトル出場！～アクティブな現代生け花に挑戦！～



2人から生まれた、流れるような優美な作品

以前ホームページ上の「蓼高 Days」にも紹介されていましたが、本校茶華道部は、猛特訓の成果を10月3日（日）に金沢市で行われた「第5回全国高校生花いけバトル北陸大会」で実演発表してきました。

出場前の9月29日、知らせを聞いた立科町議会議員の今井さんが駆け付けてくださいました。「現代生け花」アートに詳しい今井さんは、先生方に実演レクチャーをしてくださいました。要点は以下のとおり。

- ・小さくまとまらず、インパクトのある大きな表現方法をとるべし。
- ・中途半端な表現は減点になるので、作品のコンセプトがわかるように大胆かつ繊細に生けるべし。
- ・その花木が本来持つ自然な風合いを生かすべし。

実際に生けたものを見ると、私が持っていた「華道」のイメージを大きく超えた大胆なもので、これが「花生けバトル」でも主流なのだと驚きました。

さて今週になって顧問のN先生のお話を聞くと、出場生徒のIさん



スタート！ Iさんによる土台作り



バトンタッチしたYさんによる仕上げ

とYさんは、本番でとても頑張ったこと、入賞は逃したものの、2人ともやり切った満足感でいっぱいだったことを知りました。また、芸術都市である金沢の華道文化の高さにも感動したそうです。その様子は「YouTube」でも観られると聞いたので、さっそく視聴してみると、2人の奮闘と良いチームワークぶり、そして素晴らしい作品が鑑賞できました。特に2人のコメントが印象に残ったので、ここに紹介します。

Iさん『こんな大きな会場で行われた大会に出場できて、支えてくださった皆さんに感謝したいです。

ドラゴン柳の表情がわかるように、1本1本丁寧に生けることができました。』

Yさん『Iさんが土台をしっかりとってくれたので、楽しく生けることができました。』

場所にに応じてこのような立派な受け答えができる2人の成長を感じたとともに、コロナ不安の中、部員も顧問の先生も関係の方々も協力し参加できたことに、とても意義を感じうれしく思っています。



ご苦労様でした

## 生徒会立候補者 出そろう ～ただいま選挙活動中！～



笑顔であいさつPR

『おはようございます！』

朝、昇降口前で3人の候補者は登校する人にあいさつし、自身をPRしています。2年生の新正副会長候補が立候補し、いよいよ選挙戦が始まりました。10月7日の立会演説会・投票をめざし、頑張っています。今回の立候補者は定数ちょうどなので信任投票ですが、現生徒会のレガシーを受け継ぎ、生徒から信頼され本校の発展につなげられるような生徒会になることを期待しています。